

子育て世代 包括支援センターだより

子育て世代包括支援センターは、安心して産み育てられる環境作り＝子育てしやすい町を目指して活動しています。どうしていいかわからない、イライラしてしまう…そんな時は1人で悩まずに私たちにお手伝いさせてください。

ご相談は総合ケアセンターゆくり 子育て世代包括支援センター ☎26-7872
または、厚真・厚南子育て支援センターにてうかがいます。

「ことばかけ」のための ヒント

① 動きをまねてみる(ミラリング) 3、4か月くらい～

赤ちゃんは自分と同じ動きをしてくれる大人に興味を持ち、大人の様子を観察しながら、誘いかけてきたりします。

④ おとなが自分の気持ちを口にする (セルフトーク) 9、10か月頃～

自分の行動を口にするると、赤ちゃんはおとなの姿を見て、ことばの意味を知ようになります。ことばに意味があることがわかると要求を手差しや声で訴えるようになります。

② 出す声や音をまねてみる (モニタリング) 6、7か月頃～

赤ちゃんが出す「ブーブー」「バババ…」
「マンマン…」といった声をまねてあげると、「音を出すこと」を楽しむようになります。

⑤ 間違えたことばをさりげなく直す (リフレクション) 1.6歳頃～

こどものことばに間違いがあっても、言い直したり、訂正するのではなく、さりげなく正しい言葉で返してあげましょう。

特別に教える機会を作らなくても、
日々のかかわりの中で、言葉は育って
いきます☆

③ 気持ちを言葉で言ってあげる (パラレルトーク) 10か月頃～

赤ちゃんが興味を持ったもの(顔を向けたり、手を伸ばして訴えているもの)や反応を見ながら「おいしいね」「〇〇欲しいのね」など、気持ちを言葉にしてあげましょう。

⑥ 子どものことばを広げて返す (エクспанション) 1.6歳頃～

「おっきいブーブ!」「ほんとだ、大きいブーブだね。何を積んでいるのかな?」
というように話題を少し広げて返しましょう。

- * 0か月～⇒授乳やおむつ替えのときにも声をかけてあげましょう。(例:「おなか空いたね」など)
- * 7か月頃⇒「トントントントンひげじいさん」などの繰り返しの音遊び、「いない、いない、ばあ～」遊びをしてみましょう。
- * 10か月頃⇒名前を呼び、振り向くようになったら、お名前遊びをしてみましょう。
(「〇〇ちゃん」「は～い」と手を上げる)
- * 12か月頃⇒「ちょうだい」「どーぞ」などのやりとり遊びに繰り返しつき合ってください。

厚真・厚南子育て支援センター 利用について

- ①最大利用数 制限なし
- ②利用時間 制限なし
- ③利用対象者 町内外に関わらず、どなたでもご利用になれます。

【開所時間】

9:00～12:00
13:00～15:00

